



【Microsoft 365】 Excel × Copilot の活用

2026年07月30日

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第1版	2026年7月30日	初版発行

本書の内容は 2026/7/30 時点のものです。製品のアップデートにより変更となる場合がある旨、ご了承ください。

Agenda

1. 前提情報
 1. 本書の目的
 2. 用語集
2. 背景・基本概念
 1. Microsoft 365 Copilot とは
 2. なぜ Excel に Copilot が必要か
 3. 動作の基本の仕組み
3. ユースケース
 1. ユースケース①：新規ファイルをゼロから作る
 2. ユースケース②：データを並べ替えて見やすくする
 3. ユースケース③：関数を自動生成する
 4. ユースケース④：データ分析の支援
 5. ユースケース⑤：データの可視化
 6. ユースケース⑥：Web や社内ソースからデータを
取り込む
4. 導入・環境設計
 1. 前提条件
 2. 設計ポイント
5. 運用・管理・ベストプラクティス
 1. プロンプト設計
 2. 品質管理
6. 制限事項
 1. 技術に関する制約



1. 前提情報

1.1. 本書の目的

目的

本書は、Excel における Copilot の使い方を理解し、ユーザー自身がデータの整理・分析・可視化を効率的に行えるようになることを目的としています。あわせて、Excel を活用したデータ分析やレポート作成における課題を解決するための活用方法やユースケースを整理し、業務効率化と品質向上の実現を目指します。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
1	生成 AI	学習データをもとに文章・画像・コードなどの新しいコンテンツを生成する人工知能技術。
2	Microsoft Graph	Microsoft 365 内のユーザー・メール・ファイル・予定表などのデータや関係性を統合的に活用するためのプラットフォーム。
3	ピボットテーブル	大量のデータを項目ごとに自動で集計・分析・可視化できるExcelの表形式の集計機能。
4	マクロ	Excel 上で VBA と呼ばれるプログラミング言語を利用して定型業務や繰り返し業務を効率化する機能。
5	ブラックボックス化	処理の仕組みやロジックが不透明で、どのような処理が行われているのか外から分かりにくい状態のこと。
6	LLM（大規模言語モデル）	大量のテキストデータを学習し、人間のような自然な文章の生成や理解を実現する AI モデル。
7	プロンプト	Copilot や AI に対して、実行してほしい内容や条件を伝えるための指示文。
8	Microsoft 365 Apps	Word・Excel・PowerPoint・Outlookなどをクラウド連携で利用できるサブスクリプション型の Office アプリ群。
9	永続版ライセンス	買い切り型で提供され、契約期間中の継続的な機能追加を前提としないライセンス形態。
10	更新チャンネル	Microsoft 365 Apps に対する新機能や更新プログラムの配信タイミングを決める仕組み。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
11	Current Channel	最新機能を比較的早いタイミングで利用できる更新チャンネル。
12	Monthly Enterprise Channel	業務利用を意識しつつ毎月安定的に更新される企業向け更新チャンネル。
13	Microsoft Entra ID	Microsoft 365 や各種クラウドサービスの認証とアクセス管理を担う ID 管理基盤。
14	アドオン	ソフトウェアやサービスに追加で導入し、機能を拡張するための追加プログラムや追加ライセンスのこと。
15	Microsoft Entra グループ	Microsoft Entra ID 上でユーザーやデバイスをまとめて管理し、アプリケーションやファイル、SharePoint、Teams などへのアクセス権を一括で割り当てるためのグループ機能。
16	Microsoft Purview	Microsoft 365 のデータを対象としたセキュリティ、コンプライアンス、ガバナンスを統合的に管理するプラットフォーム。
17	Microsoft Purview Information Protection	組織の機密情報を 検出・分類・保護 する Microsoft Purview の情報保護機能。秘密度ラベルや暗号化、アクセス制御を利用して、ファイルやメールがどこに移動しても保護を継続できる。 ※No.18,19の補足用語です。本書内に本用語は出てきません。
18	秘密度ラベル	Microsoft Purview Information Protection に含まれる機能であり、データの機密性に応じて分類・保護を行う仕組み。
19	暗号化	Microsoft Purview Information Protection の保護機能として、データを第三者が読み取れない形式に変換し、許可された利用者のみがアクセスできるようにする技術。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
20	DLP（Data Loss Prevention）	Microsoft Purview に含まれる機能であり、機密情報の漏えいや不適切な共有を検知・防止する仕組み。
21	ハルシネーション	AI が実際には存在しない情報や誤った内容を、もっともらしく生成してしまう現象。
22	VBA	Microsoft Office 製品に搭載されているプログラミング言語で、Excel のデータ集計や帳票作成などの繰り返し作業を自動化するために利用される機能。
23	eDiscovery（電子情報開示）	Microsoft Purview に含まれる機能であり、組織内のデータを検索・収集・保全して監査や調査に利用する仕組み。
24	保持ポリシー	Microsoft Purview に含まれる機能であり、データの保存期間や削除ルールを定義して情報管理と法令遵守を支援する仕組み。
25	構造化プロンプト	AIに対する指示内容を、目的・条件・入力情報・出力形式などの要素ごとに整理して記述したプロンプト形式。



2. 背景・基本概念

2.1. Microsoft 365 Copilot とは

Microsoft 365 Copilot (以下 : Copilot)は、社内のメール、ファイル、会議、チャットなどの Microsoft 365 データを活用し、文書作成、情報検索、要約、分析などの業務を効率化するために Microsoft 365 Apps へ統合された生成 AI です。

Microsoft 365 Apps と連携



Word

文書の
作成・編集



Excel

データの
分析・集計



PowerPoint

資料の
作成



Teams

会議の
要約・整理



自然言語で業務を支援

入力された情報をもとに、文章やファイル、画像などのコンテンツを生成・変換します。



「この資料を**要約**して」

→ 要点を整理した要約を作成



「このデータを**分析**して」

→ データの分析を実施



「議事録を**作成**して」

→ 会議メモを基に議事録を作成

業務データを参照して回答



Microsoft Graph を通じてアクセス権のある業務データを参照し、文脈に沿った応答を行います。
なお、参照されるデータはユーザーのアクセス権内に限定されるため、安全に利用することができます。



メール



ファイル



会議情報



組織情報

などの業務データを参照

[詳しくはこちら](#)

2.2. なぜ Excel に Copilot が必要か

Excel での資料作成には、時間がかかることや品質が属人化しやすいといった課題があります。Copilot を用いて資料作成を行うことにより、これらの課題を解消し**資料（データ）作成の効率と品質を同時に向上させる**ことができます。



Excel とは

- ✓ データの入力管理、集計、分析、可視化をする表計算ツール
- ✓ 売上管理、予算管理、進捗管理など、業務データを効率的に整理・可視化を行う

従来

作業に時間がかかる

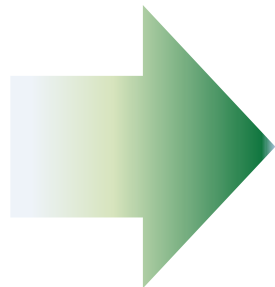
情報収集、資料作成、データ分析、要約などを手作業で行うため工数が多い

スキルが必要

関数・ピボットテーブル作成などの専門スキルが求められ、複雑な数式やマクロはブラックボックス化しやすい

データが活用されにくい

データを整理するだけになってしまい、傾向や課題を読み取るなど分析まではなかなか活用されにくい



効果

作成時間の短縮

Copilot が指示や既存ファイルをもとに資料を自動生成することで、作成時間を大幅に短縮できる

スキル不要

自動で関数やデータ分析、ピボットテーブル作成を支援し、スキルがなくても高度なデータ活用を実現できる

データ分析の支援

データの傾向や異常値、ポイントを自動で提示し、データ活用を分析・意思決定につなげやすくなる

2.3. 動作の基本の仕組み

Copilot はユーザーの指示に応じて社内データを取得し、最適な回答を生成してファイルに出力します。

基本の仕組み

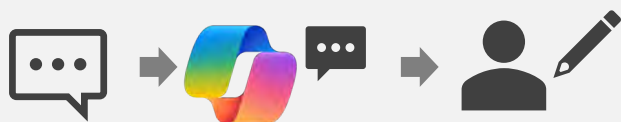


チャットモードと編集モードについて

※Excel では以下に加え、実行計画を提示してから編集をする**プランモード**がございます。

チャットモード

作成された文書に対してプロンプトを投げると、Copilot がアイデアに応じた文書をチャットで生成します。
ユーザーが会話しながら**自分で編集**します。



Copilot の提案をもとにユーザーが編集・作成

編集モード

直接文書に対してプロンプトを投げると、**Copilot が提案し、内容を直接編集・作成**します。



ユーザーのプロンプトを元に Copilot が編集・作成

★ 本書は編集モードを前提



3. ユースケース

3.1. ユースケース①：新規ファイルをゼロから作る

本ページでは、予算管理表や KPI トラッカーなどの Excel ファイルのテンプレートを短時間で作成する活用方法を紹介します。

シナリオ

予算管理表、KPI トラッカー、進捗管理表などのテンプレートを新規ファイルから短時間で作りたいケース

できること

Copilot との対話形式で業務テンプレートを短時間で作成し、表構造・計算式・レイアウトの設計を効率化できます。

- 業務テンプレートの自動作成
- 項目・列構成の提案、計算式の自動生成
- 条件付き書式の設定
- グラフ作成を考慮した表設計レイアウト整形

設計ポイント

- ✓ 用途、シート数、含めたい列、必要なグラフを明示する

フロー

1

新規 Excel ファイル作成

Excel で新規ファイルを作成して Copilot を開きます。

2

Copilot へ自然言語で内容を依頼

(入力例) プロジェクト進捗管理表を作成して
担当者、開始日、終了日、進捗率を管理したい

3

内容の確認

指示した要素が含まれているか
意図した条件付き書式となっているか確認します。

4

調整・ブラッシュアップ

出力されたものに対して、対話形式で調整します。

3.1. ユースケース①：新規ファイルをゼロから作る

実際の入力例はこちらとなります。
なお、本書は Web 版 Excel での画面となります。

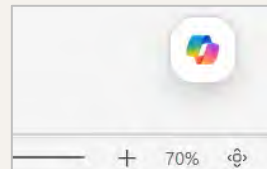
実際の流れ

1. 新規ファイルを Excel で作成
Copilot のアイコンをクリックしてプロンプト
を入力

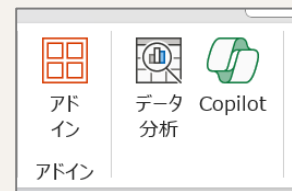
2. 出力されたものを確認し、Copilot との会話を通してファイルの調整を実施



Web 版表示



アプリ版表示



No.	タスク名	担当者	開始日	終了日	期間（日）	進捗率	ステータス
1	要件定義	田中	2026/07/01	2026/07/15	15	80%	進行中
2	設計	佐藤	2026/07/10	2026/07/25	16	50%	進行中
3	開発	鈴木	2026/07/20	2026/08/15	27	20%	進行中
4	テスト	高橋	2026/08/10	2026/08/25	16	0%	未着手
5	リリース	田中	2026/08/25	2026/08/31	7	0%	未着手

3.2. ユースケース②：データを並べ替えて見やすくする

本ページでは、大量データを指定条件で並べ替え、必要な情報を見つけやすい形に整理する活用方法を紹介します。

シナリオ

大量のデータから、必要な情報を整理したいケース

できること

大量の業務データを自然言語で分析し、必要な情報の抽出・集計・可視化を短時間で実現できます。

- 必要な情報のみを抽出したレポート形式へ整形
- フィルターや並び替え条件を指定してデータを絞り込む
- ピボットテーブルを活用した集計表を自動作成
- 売上上位／下位、進捗遅延案件、予算超過案件などを特定

設計ポイント

- ✓ どの列を基準にするか（売上・日付・担当者など）や、昇順・降順、多段階の並び替え条件を具体的に指定すると精度が上がる

フロー

1 既存 Excel ファイルを開く

整理したいデータが入力された Excel ファイルを開き、Copilot を開きます。

2 Copilot へ自然言語で並び替え条件を指定

（入力例）受注日が新しい順に並び替えて
部署ごとにまとめた後、売上順に並び替えて

3 内容の確認

生成されたものを確認します。

4 調整・ブラッシュアップ

出力されたものに対して、対話形式で調整します。

3.2. ユースケース②：データを並べ替えて見やすくする

実際の入力例はこちらとなります。

実際の流れ

1. 整理したい Excel ファイルを開き、Copilot のアイコンをクリックしてプロンプトを入力



2. 出力されたものを確認し、Copilot との会話を通してファイルの調整を実施

名	優先度	優先度スコ	ステータ	締切日	売
管理表の更新	高	3	レビュー待ち	2026/07/17	
更新確認	高	3	保留	2026/08/09	
管理表の更新	高	3	完了	2026/08/12	
予測レビュー	高	3	レビュー待ち	2026/08/14	
管理表の更新	高	3	未着手	2026/08/17	
管理表テンプレート作成	中	2	未着手	2026/07/04	
予測レビュー	中	2	対応中	2026/07/05	
更新確認	中	2	対応中	2026/07/06	
データ確認	中	2	対応中	2026/07/06	
トラッカー整備	中	2	レビュー待ち	2026/07/08	

3.3. ユースケース③：関数を自動生成する

本ページでは、実現したい計算内容を伝えることで、適切な関数や数式の作成を支援する活用方法を紹介します。

シナリオ

集計や条件判定をしたいが、どの関数を使えばよいかわからないケース

できること

SUM ・ AVERAGE ・ COUNTIF ・ XLOOKUP ・ SUMIFS ・ COUNTIFS などの関数作成、複雑な数式の生成、既存関数の説明、エラーの原因分析と修正提案を行います。

- 自然言語で指示するだけで関数を作成
- 複雑な条件付き集計や検索関数を自動生成
- 作成した関数の内容やロジックを説明
- 関数エラーの原因特定や修正を支援

設計ポイント

- ✓ 「何を計算したいか」「どの列を使うか」「条件は何か」を具体的に伝えると、より正確な関数を生成できる

フロー

1

既存 Excel ファイルを開いて整理

関数を挿入したいデータを用意し、内容や目的を整理します。

2

Copilot へ自然言語で実現したい計算内容を伝える

(入力例) 社員番号をキーに氏名を取得する XLOOKUP 関数を作成して

3

内容の確認

生成されたものを確認します。

4

調整・ブラッシュアップ

必要に応じて条件や計算方法を調整します。

3.3. ユースケース③：関数を自動生成する

実際の入力例はこちらとなります。

実際の流れ 1/2

1. 整理したい Excel ファイルを用意する
(「営業実績」ファイルの「商品名」列の補完を「商品マスター」ファイルから「商品コード」で XLOOKUP で参照したい)

案件ID	担当者	商品コード	売上金額	目標金額	商品名	達成率
A001	佐藤	P001	¥850,000	¥800,000		
A002	田中	P002	¥620,000	¥700,000		
A003	鈴木	P003	¥1,200,000	¥1,000,000		
A004	高橋	P004	¥450,000	¥500,000		
A005	佐藤	P002	¥780,000	¥750,000		
A006	田中	P001	¥980,000	¥900,000		
A007	鈴木	P005	¥650,000	¥700,000		
A008	高橋	P003	¥1,350,000	¥1,200,000		
A009	佐藤	P004	¥430,000	¥500,000		
A010	田中	P005	¥890,000	¥850,000		
A011	鈴木	P001	¥1,050,000	¥1,000,000		
A012	高橋	P002	¥570,000	¥600,000		

商品コード	商品名	カテゴリ
P001	Microsoft 365 E3	ライセンス
P002	Microsoft 365 Copilot	AI
P003	Power Platform	ローコード
P004	Windows 365	VDI
P005	Azure OpenAI Service	AI

3.3. ユースケース③：関数を自動生成する

実際の流れ 2/2

2. Copilot のアイコンをクリックしてプロンプトを入力
3. 出力されたものを確認し、Copilot との会話を通してファイルの調整を実施



商品コード	売上金額	目標金額	商品名	達成率	達成判定	担当者別売上
P001	¥850,000	¥800,000	=@XLOOKUP(C2, 商品マスター!\$A\$2:\$A\$6, 商品マスタ			
P002	¥620,000	¥700,000	ー!\$B\$2:\$B\$6)			
P003	¥1,200,000	¥1,000,000	Power Platform	120.0%	達成	¥2,900
P004	¥450,000	¥500,000	Windows 365	90.0%	未達	¥2,370
P002	¥780,000	¥750,000	Microsoft 365 Copilot	104.0%	達成	¥2,060
P001	¥980,000	¥900,000	Microsoft 365 E3	108.9%	達成	¥2,490
P005	¥650,000	¥700,000	Azure OpenAI Service	92.9%	未達	¥2,900
P003	¥1,350,000	¥1,200,000	Power Platform	112.5%	達成	¥2,370
P004	¥430,000	¥500,000	Windows 365	86.0%	未達	¥2,060
P005	¥890,000	¥850,000	Azure OpenAI Service	104.7%	達成	¥2,490
P001	¥1,050,000	¥1,000,000	Microsoft 365 E3	105.0%	達成	¥2,900
P002	¥570,000	¥600,000	Microsoft 365 Copilot	95.0%	未達	¥2,370

3.4. ユースケース④：データ分析の支援

本ページでは、売上や実績などのデータから傾向・差分・異常値を抽出し、分析を効率化する活用方法を紹介します。

シナリオ

売上・実績・アンケート結果などのデータから、傾向や課題をすばやく把握したいケース

できること

大量の売上・実績・アンケートデータから、傾向・課題・改善ポイントを短時間で把握し、迅速な意思決定を支援します。

- 傾向分析
- 実績差異分析
- アンケート要約
- 異常値検出
- グラフ自動生成

設計ポイント

- ✓ 「何を知りたいか」「どの指標を見るか」「どの期間・カテゴリで比較するか」を具体的に指定すると、より実務に使いやすい分析結果になる

フロー

1

既存 Excel ファイルを開いて整理

分析したいデータを用意し、内容や目的を整理します。

2

Copilot へ自然言語で分析したい観点を伝える

(入力例) 売上データから、前月比で大きく増減した商品进行分析して

3

内容の確認

結果・差分・異常値などを確認します。

4

調整・ブラッシュアップ

必要に応じて分析軸や条件を追加します。

3.4. ユースケース④：データ分析の支援

実際の入力例はこちらとなります。

実際の流れ 1/2

1. 分析したい Excel ファイルを用意する

月	四半	地域	店舗	商品カテ	商品名	売上目標	売上実績	達成	前年差
2026/1	Q1	東日本	東京本店	PC	デスクトップPC	3,399,000	3,544,000	104.3%	-4.7%
2026/1	Q1	東日本	東京本店	周辺機器	モニター 27インチ	1,034,000	916,000	88.6%	3.2%
2026/1	Q1	東日本	東京本店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,730,000	1,870,000	108.1%	10.8%
2026/1	Q1	東日本	東京本店	サービス	導入支援	1,331,000	1,130,000	84.9%	13.4%
2026/1	Q1	東日本	横浜店	PC	ノートPC Lite	3,350,000	3,041,000	90.8%	6.9%
2026/1	Q1	東日本	横浜店	周辺機器	キーボード	1,493,000	1,607,000	107.6%	14.0%
2026/1	Q1	東日本	横浜店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,722,000	1,896,000	110.1%	7.4%
2026/1	Q1	東日本	横浜店	サービス	トレーニング	1,688,000	1,495,000	88.6%	-2.3%
2026/1	Q1	東日本	仙台店	PC	ノートPC Pro	3,551,000	3,916,000	110.3%	14.3%
2026/1	Q1	東日本	仙台店	周辺機器	キーボード	1,087,000	1,134,000	104.3%	4.2%
2026/1	Q1	東日本	仙台店	ソフトウェア	セキュリティソフト	1,897,000	1,607,000	84.7%	-10.6%
2026/1	Q1	東日本	仙台店	サービス	保守サポート	1,633,000	1,568,000	96.0%	-4.5%
2026/1	Q1	西日本	大阪店	PC	ノートPC Lite	4,398,000	4,055,000	92.2%	-3.2%
2026/1	Q1	西日本	大阪店	周辺機器	モニター 27インチ	1,264,000	1,077,000	85.2%	6.8%
2026/1	Q1	西日本	大阪店	ソフトウェア	クラウドストレージ	2,191,000	2,191,000	100.0%	2.7%
2026/1	Q1	西日本	大阪店	サービス	導入支援	1,802,000	1,989,000	110.4%	-9.4%
2026/1	Q1	西日本	神戸店	PC	ノートPC Lite	4,669,000	4,060,000	87.0%	3.8%
2026/1	Q1	西日本	神戸店	周辺機器	USB-Cハブ	1,170,000	1,308,000	111.8%	7.5%
2026/1	Q1	西日本	神戸店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,929,000	1,922,000	99.6%	-11.8%
2026/1	Q1	西日本	神戸店	サービス	トレーニング	1,418,000	1,447,000	102.0%	-5.6%
2026/1	Q1	西日本	京都店	PC	ノートPC Lite	3,519,000	2,988,000	84.9%	0.9%
2026/1	Q1	西日本	京都店	周辺機器	モニター 27インチ	1,049,000	1,089,000	103.8%	12.0%
2026/1	Q1	西日本	京都店	ソフトウェア	業務アプリ	1,710,000	1,876,000	109.7%	1.3%
2026/1	Q1	西日本	京都店	サービス	導入支援	1,831,000	1,967,000	107.4%	-7.0%
2026/1	Q1	中部	名古屋店	PC	ノートPC Lite	3,633,000	3,834,000	105.5%	1.7%
2026/1	Q1	中部	名古屋店	周辺機器	モニター 27インチ	1,111,000	984,000	88.6%	-10.2%
2026/1	Q1	中部	名古屋店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,643,000	1,821,000	110.8%	-9.6%
2026/1	Q1	中部	名古屋店	サービス	トレーニング	1,423,000	1,420,000	99.8%	6.6%
2026/1	Q1	中部	静岡店	PC	デスクトップPC	3,708,000	3,336,000	90.0%	-8.1%
2026/1	Q1	中部	静岡店	周辺機器	USB-Cハブ	1,499,000	1,677,000	111.9%	-9.8%
2026/1	Q1	中部	静岡店	ソフトウェア	業務アプリ	1,735,000	1,651,000	95.2%	4.3%

三 売上実績データ アンケート結果

回答日	顧客セグメント	地域	利用商品	満足度(1-5)	導入しやすさ(1-5)	サポート満足度	再購入意向(1-5)	NPS区分	自由記述コメント
2026/4/17	中小企業	中部	サービス	5	4	3	3	中立者	社内展開用の説明資料や活用例がもっと欲しい。
2026/4/21	大企業	中部	サービス	4	5	4	5	推奨者	問い合わせ後の回答までに時間がかかった。
2026/3/27	中小企業	中部	周辺機器	5	4	3	3	中立者	費用対効果は理解できるが、初期費用が高く感じ
2026/6/26	大企業	九州	PC	4	5	5	4	推奨者	必要な機能は一通り揃っており、業務で使いやすい
2026/2/23	中小企業	西日本	周辺機器	4	3	4	4	中立者	費用対効果は理解できるが、初期費用が高く感じ
2026/3/22	大企業	西日本	サービス	4	4	5	3	中立者	社内展開用の説明資料や活用例がもっと欲しい。
2026/1/1	教育機関	西日本	PC	4	4	5	3	中立者	費用対効果は理解できるが、初期費用が高く感じ
2026/6/11	教育機関	東日本	周辺機器	5	3	3	3	中立者	社内展開用の説明資料や活用例がもっと欲しい。
2026/1/4	中小企業	中部	ソフトウェア	4	5	4	4	中立者	費用対効果は理解できるが、初期費用が高く感じ
2026/5/19	中堅企業	東日本	サービス	4	4	3	5	中立者	大きな不満はなく、継続利用したい。
2026/2/3	中堅企業	東日本	PC	5	4	5	5	推奨者	大きな不満はなく、継続利用したい。
2026/2/8	大企業	中部	周辺機器	4	3	4	4	中立者	導入後、集計作業の時間が削減された。
2026/5/17	教育機関	西日本	ソフトウェア	3	3	5	3	中立者	画面や設定項目が多く、初回利用時に迷いやすい
2026/4/21	大企業	東日本	ソフトウェア	4	3	3	3	中立者	大きな不満はなく、継続利用したい。
2026/4/25	大企業	東日本	PC	3	4	2	2	批判者	問い合わせ後の回答までに時間がかかった。
2026/4/17	教育機関	中部	サービス	5	3	4	4	中立者	費用対効果は理解できるが、初期費用が高く感じ

3.4. ユースケース④：データ分析の支援

実際の流れ 2/2

2. Copilot のアイコンをクリックしてプロンプトを入力 3.出力されたものを確認し、Copilot との会話を通してファイルの調整を実施



傾向 (3点)	
傾向①	Q2売上がQ1を大幅に上回り、上期末キャンペーン効果で成長傾向
詳細	Q1: 3.11億円 → Q2: 3.44億円 (+10.8%増)。特に6月のキャンペーン施策が奏功し、全商品カテゴリで売上増。
傾向②	サービス・ソフトウェアカテゴリの売上伸長が顕著
詳細	サービス: 目標1.15億円に対し実績1.26億円 (達成率109.3%)、ソフトウェア: 目標1.35億円に対し実績1.43億円 (達成率105.3%)。高付加価値商品への需要シフトが見られる。
傾向③	顧客満足度は平均4.0点と良好だが、NPS中立者が82.5%と高い
詳細	NPS: 推奨者10名(12.5%)、中立者66名(82.5%)、批判者4名(5.0%)。NPSスコア+7.5は低水準。積極的な推奨には至っていない顧客が多数。
課題 (3点)	
課題①	価格に対する不満が最多 (15件/80件、18.8%)
	「初期費用が高い」「費用対効果が見えにくい」という声が多く、特に中小企業セグメントで顕著。価格訴求力の強化が

三 売上実績データ アンケート結果 分析レポート +

3.5. ユースケース⑤：データの可視化

本ページでは、表データをグラフやピボットテーブルに変換し、会議や報告で使いやすい形に可視化する活用方法を紹介します。

シナリオ

会議用・報告用に、データをすぐ可視化したいケース

できること

売上実績や進捗状況などのデータを短時間でグラフやピボットテーブルに変換し、会議や報告に必要な情報を可視化します。

- グラフの自動作成
- ピボットテーブルによる集計
- KPI・進捗状況の可視化
- 異常値の発見
- ダッシュボード作成

設計ポイント

- ✓ 行・列・指標・期間などを指定すると精度が上がる

フロー

- 1 既存 Excel ファイルを開いて整理**
分析したいデータを用意し、内容や目的を整理します。
- 2 Copilot へ自然言語でグラフ種別やピボット条件を伝える**
(入力例) 月別売上の推移を折れ線グラフで表示して
- 3 内容の確認**
結果・表示項目などを確認します。
- 4 調整・ブラッシュアップ**
必要に応じて色やレイアウト変更を依頼します。

3.5. ユースケース⑤：データの可視化

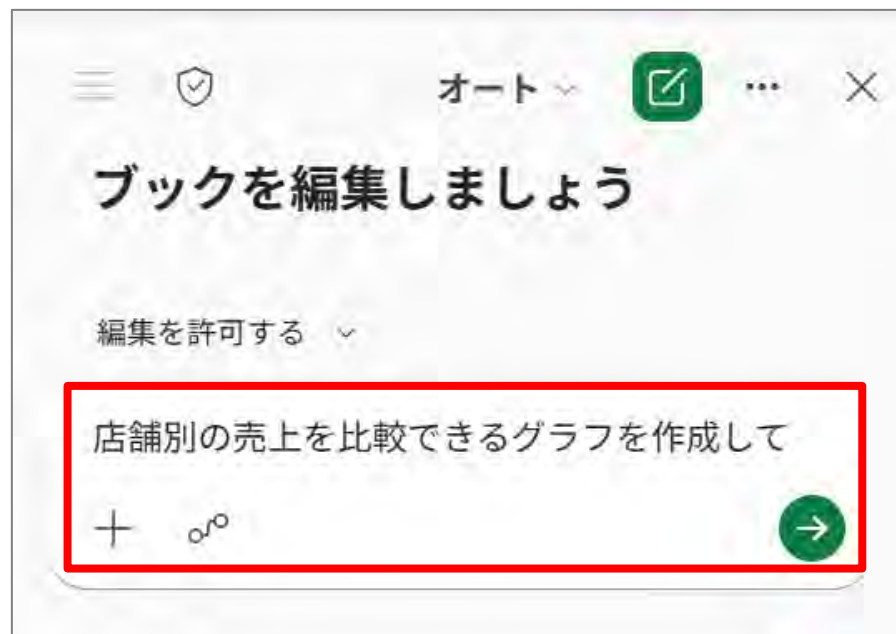
実際の入力例はこちらとなります。

実際の流れ 1/2

1. 分析したい Excel ファイルを用意する

2. Copilot のアイコンをクリックしてプロンプトを入力

月	四半	地域	店舗	商品カテ	商品名	売上目標	売上実績	達成	前年差
2026/1 Q1		東日本	東京本店	PC	デスクトップPC	3,399,000	3,544,000	104.3%	-4.7%
2026/1 Q1		東日本	東京本店	周辺機器	モニター 27インチ	1,034,000	916,000	88.6%	3.2%
2026/1 Q1		東日本	東京本店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,730,000	1,870,000	108.1%	10.8%
2026/1 Q1		東日本	東京本店	サービス	導入支援	1,331,000	1,130,000	84.9%	13.4%
2026/1 Q1		東日本	横浜店	PC	ノートPC Lite	3,350,000	3,041,000	90.8%	6.9%
2026/1 Q1		東日本	横浜店	周辺機器	キーボード	1,493,000	1,607,000	107.6%	14.0%
2026/1 Q1		東日本	横浜店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,722,000	1,896,000	110.1%	7.4%
2026/1 Q1		東日本	横浜店	サービス	トレーニング	1,688,000	1,495,000	88.6%	-2.3%
2026/1 Q1		東日本	仙台店	PC	ノートPC Pro	3,551,000	3,916,000	110.3%	14.3%
2026/1 Q1		東日本	仙台店	周辺機器	キーボード	1,087,000	1,134,000	104.3%	4.2%
2026/1 Q1		東日本	仙台店	ソフトウェア	セキュリティソフト	1,897,000	1,607,000	84.7%	-10.6%
2026/1 Q1		東日本	仙台店	サービス	保守サポート	1,633,000	1,568,000	96.0%	-4.5%
2026/1 Q1		西日本	大阪店	PC	ノートPC Lite	4,398,000	4,055,000	92.2%	-3.2%
2026/1 Q1		西日本	大阪店	周辺機器	モニター 27インチ	1,264,000	1,077,000	85.2%	6.8%
2026/1 Q1		西日本	大阪店	ソフトウェア	クラウドストレージ	2,191,000	2,191,000	100.0%	2.7%
2026/1 Q1		西日本	大阪店	サービス	導入支援	1,802,000	1,989,000	110.4%	-9.4%
2026/1 Q1		西日本	神戸店	PC	ノートPC Lite	4,669,000	4,060,000	87.0%	3.8%
2026/1 Q1		西日本	神戸店	周辺機器	USB-Cハブ	1,170,000	1,308,000	111.8%	7.5%
2026/1 Q1		西日本	神戸店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,929,000	1,922,000	99.6%	-11.8%
2026/1 Q1		西日本	神戸店	サービス	トレーニング	1,418,000	1,447,000	102.0%	-5.6%
2026/1 Q1		西日本	京都店	PC	ノートPC Lite	3,519,000	2,988,000	84.9%	0.9%
2026/1 Q1		西日本	京都店	周辺機器	モニター 27インチ	1,049,000	1,089,000	103.8%	12.0%
2026/1 Q1		西日本	京都店	ソフトウェア	業務アプリ	1,710,000	1,876,000	109.7%	1.3%
2026/1 Q1		西日本	京都店	サービス	導入支援	1,831,000	1,967,000	107.4%	-7.0%
2026/1 Q1		中部	名古屋店	PC	ノートPC Lite	3,633,000	3,834,000	105.5%	1.7%
2026/1 Q1		中部	名古屋店	周辺機器	モニター 27インチ	1,111,000	984,000	88.6%	-10.2%
2026/1 Q1		中部	名古屋店	ソフトウェア	クラウドストレージ	1,643,000	1,821,000	110.8%	-9.6%
2026/1 Q1		中部	名古屋店	サービス	トレーニング	1,423,000	1,420,000	99.8%	6.6%
2026/1 Q1		中部	静岡店	PC	デスクトップPC	3,708,000	3,336,000	90.0%	-8.1%
2026/1 Q1		中部	静岡店	周辺機器	USB-Cハブ	1,499,000	1,677,000	111.9%	-9.8%
2026/1 Q1		中部	静岡店	ソフトウェア	業務アプリ	1,735,000	1,651,000	95.2%	4.3%



3.5. ユースケース⑤：データの可視化

実際の流れ 2/2

3.出力されたものを確認し、Copilot との会話を通してファイルの調整を実施



3.6. ユースケース⑥：Web や社内ソースからデータを取り込む

本ページでは、Web や社内ファイル・メール・会議情報などを参照し、分析に必要なデータの取り込みを支援する活用方法を紹介します。

シナリオ

別ファイル、OneDrive、SharePoint、メール、会議情報、Web 情報などをもとに集計をしたいケース

できること

Web や社内のファイル、メール、会議情報から必要なデータを収集し、分析やレポートを作成します。

- Web データの取り込み
- SharePoint・OneDrive 上の情報収集
- Word・PDF・PowerPoint からのデータ抽出
- メール・会議情報の一覧化

設計ポイント

- ✓ データソース名や目的を具体化し、参照権限を整理しておく

フロー

1

新規 Excel ファイルを作成

2

Copilot へ自然言語で参照したいデータと目的を依頼

(入力例) 昨日のメールを送信者・件名・重要度ごとに表にして

3

内容の確認

結果・表示項目などを確認します。

4

調整・ブラッシュアップ

必要に応じて分析の追加を依頼します。

3.6. ユースケース⑥：Web や社内ソースからデータを取り込む

実際の入力例はこちらとなります。

実際の流れ

1. 新規ファイルを Excel で作成
Copilot のアイコンをクリックしてプロンプト
を入力

2. 出力されたものを確認し、Copilot との会話を通してファイルの調整を
実施

ブックを編集しましょう

編集を許可する ▾

Webから主要クラウドベンダーの市場シェア
を取得して表にして

+  

ベンダー	市場シェア	成長率 (YoY)	
AWS (Amazon)	28%	28%	市場リーダー
Microsoft Azure	21%	40%	急成長中、AI
Google Cloud	14%	63%	最速成長のハ
Alibaba Cloud	4%	N/A	アジア太平洋
Oracle Cloud	5%	N/A	エンタープラ
その他 (Neocloud等)	28%	N/A	AI特化型新興
データソース: Axis Intelligence, Synergy Research Group等 (2026年Q1時点)			

A grayscale illustration of a workspace. In the upper left, a portion of a laptop keyboard is visible. To its right is a spiral-bound notebook. Below the keyboard, a rectangular object, possibly a mouse or a small tablet, is shown. In the foreground, a document with placeholder text "Lorem ipsum dolor amet, consectetur elit, sed tempor labor" is held by a paperclip. The entire scene is rendered in a clean, modern style with soft shadows.

4. 導入・環境設計

4.1. 前提条件

Excel にて Copilot を利用可能にするためには、以下の各利用要件を満たす必要があります。

Microsoft 365 Apps の利用要件



Microsoft 365 Apps が利用できる
ライセンス
・永続版ライセンスでは利用不可



Microsoft Entra ID に登録



[ネットワーク環境](#)を確認

Copilot の利用要件



Copilot が利用できるライセンス
・通常の Microsoft 365 ライセンス
とは別に、追加アドオン必須



Microsoft 365 データ基盤
以下が使える状態
・ SharePoint
・ OneDrive
・ Teams
・ Exchange



Exchange Online
・ Copilot を利用するアカウ
ントのプライマリメールボッ
クスが、Exchange Online 上
に存在している状態

その他



SharePoint・OneDrive への保存（推奨）
・ Microsoft Graph を利用したコンテンツ
参照や既存ファイル活用を行う場合はクラ
ウド保存が推奨される

Web 版とアプリ版の要件を確認



・ Web 版
通常利用可能

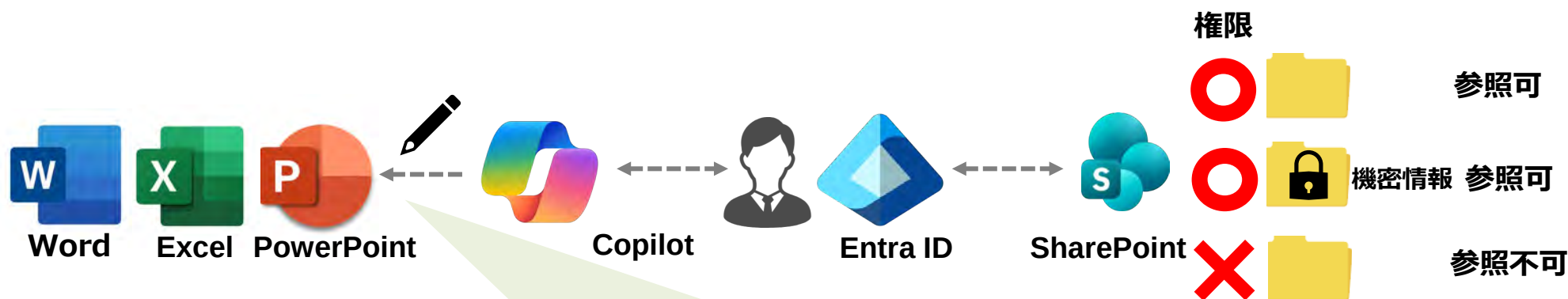
・ アプリ版
Current Channel
Monthly Enterprise Channel
での実行が必須

4.2. 設計ポイント

Copilot は Microsoft Graph を通じて、ユーザーが権限を持つメール、チャット、会議、ファイルなどの情報を参照して回答を生成します。そのため、不要なデータへのアクセス権が付与されている場合は意図しない情報が参照される可能性があり、逆に必要な情報が整理されていない場合は回答品質の低下につながります。

Copilot の参照範囲

Copilot はユーザーがアクセス権を持つ Microsoft 365 データを参照して応答を生成します。個人情報など機密情報が記載されているファイルにユーザーの閲覧・編集権限が付与されている場合、Copilot が編集中の Word・Excel・PowerPoint ファイルへ内容を生成・反映する場合があります。注意が必要です。



機密データはユーザーに閲覧・編集権限があれば Copilot が新規ファイルに内容を書き出すことが可能になってしまうため、秘密度ラベル・暗号化・DLP を組み合わせた設計が重要です。

4.2. 設計ポイント

Office で Copilot を利用する場合において、適切なアクセス権設計とナレッジの整理は、Copilot の回答精度と情報セキュリティを左右する重要な設計ポイントです。

アクセス権設計

- ✓ **SharePoint・OneDrive アクセス権の整理**
Copilot は利用ユーザーが編集・閲覧権限が付与されている範囲内で SharePoint・OneDrive データを参照するため、過剰権限を避け、適切なアクセス権付与が必要です。
- ✓ **Microsoft Entra グループの整理**
Copilot は Teams や Outlook、SharePoint サイトの情報も参照するため、Microsoft Entra グループでの適切なグループ設計が必要です。

ナレッジ整理

- ✓ **機密情報の保護（Microsoft Purview 利用）**
Copilot は既存のアクセス権や保護ポリシーが適用されるため、機密情報を含むデータには Microsoft Purview の秘密度ラベル、暗号化、DLP を組み合わせて保護することが推奨される。Copilot が機密情報を参照したデータの流出を防止する対策が重要です。
- ✓ **構成の見直し**
ファイル・フォルダ構成やサイト構成を統一して関連情報を適切な場所へ集約し、Copilot が参照しやすい構成にすることが重要です。
- ✓ **ファイルの管理を運用化**
Copilot が必要な情報を正しく参照できるよう、不要データの削除やファイルの集約を実施する。最新版・正式版が分かるファイル管理ルールを整備し、誤った情報の参照を防止して精度を向上させます。



5. 運用・管理・ベストプラクティス

5.1. プロンプト設計

Copilot の出力品質はプロンプトの内容に大きく依存するため、目的・条件を明確に指示する設計が重要です。



基本原則

Copilot を効果的に利用するためには、以下の 4 つの要素を明確にすることが基本原則となります。

- 1 **目的**：何をしたいか（例：データ管理、売上分析）
- 2 **対象**：どのデータを使うか（例：売上表、顧客一覧）
- 3 **条件**：どの範囲・観点で分析するか（例：地域別、年度別）
- 4 **形式**：どのような出力結果にするか（例：表、グラフ、要約）



活用ポイント

- ✓ 構造化プロンプトと文章ベースのプロンプトを組み合わせる
- ✓ 一度で完成を目指さず、**対話**しながら改善する
- ✓ 修正・再生成を繰り返し、内容をブラッシュアップする



テンプレート化

Copilot の活用は、利用者ごとの経験やスキルによって差が出やすく、以下のような課題が発生しやすい特徴があります。

- プロンプトの書き方にばらつきがある
- 出力結果の品質に差が出る
- ノウハウが個人に依存してしまう（属人化）

これらの課題を解決するためには、**よく使うプロンプトをテンプレート化し、標準化**することが重要です。



効果

- ✓ **出力品質の安定**：誰が使っても一定レベルの成果物が得られる
- ✓ **利用促進**：使い方が明確になることで利用ハードルが下がる
- ✓ **教育コスト削減**：テンプレート化により個別指導が不要になる

5.2. 品質管理

Copilot の出力には誤りや不適切表現が含まれる可能性があるため、人によるレビューを前提とした品質管理が必要です。

内容の正確性を確認する



ファクトチェック

事実やデータが正しいかを確認します。



数値
(売上・割合など)



固有名詞
(企業名・サービス名)



最新情報



ハルシネーションチェック

存在しない情報や誤った内容が含まれていないかを確認します。



存在しないデータや
統計



根拠のない
分析結果



実在しない
事例

必ず人の目を介して一次情報や公式情報で確認することが重要

結果の正確性を確認する



元データ品質担保

Copilot はデータをもとに編集を行うため、事前に元データを整理しておく必要があります。



データの
テーブル化



表記ゆれ・誤値
確認



重複チェック



編集結果チェック

生成された数式やグラフの範囲、削除された行などがないか再度確認します。



数式の正確性



グラフ範囲の
確認



元データとの
照合

元データの品質を担保し、結果を確認してから
適用することで、分析精度やデータの正確性を向上



6. 制限事項

6.1. 技術に関する制約

Copilot の出力は、AI の処理能力や対応フォーマットに制約があるため、入力データや使い方によっては期待どおりに動作しない場合があります。

データ形式の制約



Copilot での Excel 編集は、表形式の整理されたデータを前提としています。
以下のようなデータは意図した結果にならない場合があります。

- × 結合セルが多いデータ
- × タイトルや注釈が大量に混在
- × 表形式になっていない一覧表



表形式データを編集させることを前提として考えることが重要

処理能力の制約



シート数が多いファイルや複数シート間で複雑な参照関係を持つファイルでは、Copilot が全体構造を正しく理解できない場合があります。

- × 大量のシートを持つ管理ファイル
- × 多段階の参照関数が多数存在
- × 複雑なピボットテーブルを多用



大規模な業務台帳や長年運用されるデータ量の多い管理表などは意図した結果にならない場合がある

VBA・マクロへの制約



アプリ版 Excel では VBA コードの生成や修正が可能です。が、実行結果や業務要件への適合性を保証するものではありません。

- × 実行結果の正確性保証
- × 業務影響の保証
- × 既存マクロとの整合性保証



実運用へ適用する重要な VBA・マクロは事前に十分なテストを行うことが重要

6.1. 技術に関する制約

Excel における Copilot との会話内容は長期的には保持されませんが、編集結果はファイルに反映・保存されます。また、変更履歴ではこれらの変更は Copilot の操作として区別されず、ユーザーによる操作として記録されるため、重要な変更内容はあらかじめコピーなどで保存しておくことが推奨されます。

Copilot チャット利用時の制約①



Excel における Copilot との会話内容は長期的には保持されない

Copilot との会話はしばらくは残りますが、以下の場合には履歴が消えてしまいます。



- ・一度画面を閉じた場合
- ・セッションが切れた場合

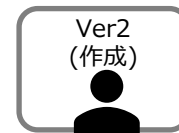
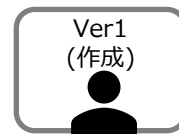
なお、編集結果は反映・保存されます。



Copilot との会話内容を長期保存するためには、Microsoft Purview の eDiscovery と保持ポリシーを利用する必要があります。

Copilot チャット利用時の制約②

変更履歴はユーザーの操作として記録される



変更履歴は、記録されますが、ユーザーの操作として記録されるため、Copilot による操作として区別して確認することはできません。



重要なファイルを Copilot で編集する場合は、事前にコピーを作成しておくことで、変更前の状態を保持し、万が一の際に元に戻せるようにすることができます。



重要な変更内容は必ず人が確認し、必要に応じて適切に記録・管理を行う必要があります。